

(1) 智頭急行株式会社経営状況報告書

一 法人の概要

- 1 名 称 智頭急行株式会社
- 2 目 的 鉄道事業法による旅客の運送業及びこれに付帯または関連する事業を営むことを目的とする。
- 3 設立登記年月日 昭和61年5月31日
- 4 資 本 金 450,000,000円 (9,000株)
- 5 株 主
- | | |
|-------|----------------------|
| 鳥 取 県 | 152,500,000円(3,050株) |
| 兵 庫 県 | 60,000,000円(1,200株) |
| 鳥 取 市 | 50,550,000円(1,011株) |
| 岡 山 県 | 36,450,000円(729株) |
| 各市町村 | 89,300,000円(1,786株) |
| 民間企業 | 58,500,000円(1,170株) |
| 各 団 体 | 2,700,000円(54株) |
- 6 役 員
- 取締役 13人 監査役 2人
- 取締役会長 平井伸治(鳥取県知事)
- 取締役副会長 吉本知之(兵庫県副知事)
- 取締役副会長 木幡 浩(岡山県副知事)
- 代表取締役社長 岡村俊作
- 代表取締役常務 玉井和則
- 取締役 竹内 功(鳥取市長)
- ” 井山愛治(八頭町長)
- ” 寺谷誠一郎(智頭町長)
- ” 青木秀樹(西粟倉村長)
- ” 道上政男(美作市長)
- ” 庵造典章(佐用町長)
- ” 山下恭史(株式会社鳥取銀行常務執行役員)
- ” 上杉雅彦(神姫バス株式会社代表取締役会長)

監 査 役 石 田 耕太郎 (倉吉市長)

” 和 田 長 平 (播州信用金庫理事長)

7 従 業 員 80人

8 事 務 所 本 社 鳥取県八頭郡智頭町智頭 2 0 5 2 番地 1

運 輸 部 鳥取県八頭郡智頭町智頭 1 8 6 2 番地 2

大原事業所 岡山県美作市古町 1 5 5 0 番地 2

二 平成24年度事業実施状況

1 営業の概要及び成果

輸送の安全確保を最重要課題として全社員が一丸となって取組み、無事故で終了した。

特急列車の利用状況は、企業活動の停滞や鳥取自動車道の部分開通の影響を受けているものの、東日本大震災の影響で落ち込んだ反動増があったうえ、山陰デスティネーションキャンペーン関連の様々なPR活動を、関係機関と一体となり積極的に取り組んだ結果、「スーパーはくと」、「スーパーいなば」ともに前期を上回る結果となった。

(1) 列車利用状況

(単位：人、%)

区分	当期	前期	増減数	前期比	主な要因
スーパ-はくと	622,606	598,253	24,353	104.1	山陰デスティネーションキャンペーン等による増
スーパ-いなば	238,991	233,675	5,316	102.3	
特急列車 計	861,597	831,928	29,669	103.6	
普通列車	203,324	197,193	6,131	103.1	

(2) 収支状況

主な収入

(単位：千円、%)

区分	当期	前期	増減額	前期比	主な要因
旅客運輸収入	1,311,936	1,283,809	28,127	102.2	乗客の増
運輸雑収入	1,443,525	1,469,828	-26,304	98.2	使用料の減
営業収益 計	2,755,461	2,753,637	1,823	100.1	

主な費用

(単位：千円、%)

区分	当期	前期	増減額	前期比	主な要因
修繕費	837,489	756,888	80,601	110.6	土木構造物修繕の増
動力費	336,366	331,759	4,607	101.4	軽油単価の上昇
減価償却費	378,504	396,307	-17,803	95.5	
営業費用 計	2,554,142	2,472,318	81,824	103.3	

(3) ダイヤ改正の実施

平成25年春のダイヤ改正を3月16日に実施し、東京方面から乗り継ぎができるスーパーはくと13号を姫路で6分調整することにより、東京方面での滞在時間を約10分延長した。また、山陽・九州新幹線「さくら」が5分短縮となり、九州方面への旅行がさらに便利となった。

(4) 安全対策の実施状況

安全対策については、経営トップと現場が一体となって安全を最優先とする職場風土の構築など、安全を確かなものとするための取組を展開するとともに、安全推進委員会を毎月開催し、鉄道事故防止に関する事項について徹底した議論を繰り返すほか、安全に係わる内部監査も実施し、P D C Aサイクルを徹底するなど、引き続き安全管理体制のさらなる充実・強化を図った。

(5) 企画きっぷの発売状況

山陰デスティネーションキャンペーンに合わせて、「山陰パス」「山陰めぐりパス」の企画きっぷをJRと共同で発売したほか、「東京往復割引きっぷ」、「京阪神往復割引きっぷ」、「広島往復割引きっぷ」、「岡山往復割引きっぷ」を積極的に販売するとともに、京阪神、岡山、広島方面からの誘客を図るための「かにカニ日帰りエクスプレス」をご利用のお客様に、引き続き「ズワイガニ」等をプレゼントする企画を実施するなど、利用者の増加を図った。

普通列車については、「一日乗り放題きっぷ」を発売し、普通列車の利用者拡大に努めた。

(6) 利用促進に向けた広告宣伝等の実施状況

鳥取県・島根県及びJR西日本による「山陰デスティネーションキャンペーン」が10月1日から12月31日まで開催され、これに伴い京阪神地区でのイベント等に積極的に参加し、多くのお客様に「スーパーはくと」の魅力をPRしたと同時に、鳥取県が主催する「まんが王国とっとり」を積極的にPRするため、JR西日本と共同で、スーパーはくと号のイラスト列車の運行も行った。

また、カニなど「山陰の冬の魅力」について、京阪神地区を中心にテレビCM・新聞広告等での宣伝を行った。

普通列車においては、前期に引き続き利用促進や地域の活性化に資するよう沿線自治体主催のイベントに積極的に参加するとともに、会社独自のイベント「こども1日職場見学ツアー」、「ちずきゅうこうスタンプラリー」、「スーパーウォーキング(宮本武蔵～あわくら温泉間)」などを開催した。

また、毎年恒例の「風鈴列車」、「七夕列車」、「クリスマス列車」、「杉玉列車」の運行に加え、新しく美作市・美作市観光振興協議会と共同で「おもちゃ列車」の運行も行った。

2 設備投資及び資金調達の状況

主な設備投資とその金額は次のとおりであり、全て自己資金で対応した。

設備投資の内容	金 額
車両用エンジン（特急車両用6台）	28,320千円
落石止め柵	10,400千円

智頭急行株式会社
損益計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
鉄道事業営業利益				
1 営業収益	2,755,461,080	2,753,637,531	1,823,549	
(1) 旅客運輸収入	1,311,936,403	1,283,808,919	28,127,484	
(2) 運輸雑収入	1,443,524,677	1,469,828,612	26,303,935	
2 営業費用	2,554,141,644	2,472,319,173	81,822,471	
(1) 運送費	1,936,153,255	1,852,967,530	83,185,725	
(2) 案内宣伝費	36,509,408	35,848,799	660,609	
(3) 厚生福利施設費	1,336,816	1,468,440	131,624	
(4) 一般管理費	129,870,018	109,897,115	19,972,903	
(5) 諸税	71,768,636	75,830,154	4,061,518	
(6) 減価償却費	378,503,511	396,307,135	17,803,624	
営業損益	201,319,436	281,318,358	79,998,922	
営業外収益	11,656,976	32,135,882	20,478,906	
1 受取利息	9,405,571	7,683,383	1,722,188	
2 雑収入	2,251,405	24,452,499	22,201,094	
営業外費用	12,221,063	28,345,580	16,124,517	
1 支払利息	8,544,043	11,077,029	2,532,986	
2 繰延資産償却	2,402,011	2,561,128	159,117	
3 雑支出	1,275,009	14,707,423	13,432,414	
経常損益	200,755,349	285,108,660	84,353,311	
特別利益	78,067,892	19,999	78,047,893	
特別損失	94,480,363	28,475,766	66,004,597	
税引前当期利益	184,342,878	256,652,893	72,310,015	
法人税等	69,724,200	98,463,100	28,738,900	
当期純利益	114,618,678	158,189,793	43,571,115	

智頭急行株式会社
貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	1,799,642,597	1,743,892,837	55,749,760
未収運賃	397,680,794	403,035,596	5,354,802
未収収益	3,916,150	14,413,378	10,497,228
有価証券	501,067,025	501,067,025	0
貯蔵品	281,892,299	288,791,859	6,899,560
前払費用	12,723,001	11,571,867	1,151,134
未収金	78,071,892	0	78,071,892
流動資産合計	3,074,993,758	2,962,772,562	112,221,196
2 固定資産			
(1) 鉄道事業固定資産	1,957,640,267	2,302,935,316	345,295,049
有形固定資産	1,946,849,211	2,287,297,176	340,447,965
無形固定資産	10,791,056	15,638,140	4,847,084
(2) 投資その他の資産	77,949,235	88,921,483	10,972,248
差入保証金	2,084,000	2,084,000	0
長期未収金	75,762,875	86,735,123	10,972,248
その他	102,360	102,360	0
固定資産合計	2,035,589,502	2,391,856,799	356,267,297
3 繰延資産			
開発費	8,232,202	10,383,213	2,151,011
繰延資産合計	8,232,202	10,383,213	2,151,011
資産合計	5,118,815,462	5,365,012,574	246,197,112

三 平成25年度事業計画

安全を最優先とする意識の定着を図るため、経営理念の第一は安全の確保であることを再認識し、経営トップ及び全管理職社員自らが現場に出向き、現場との一体感を醸成するなど、より一層強固な安全管理体制を築いていくと同時に、社員全員で、今一度基本に立ち返り、規程の遵守並びに執務の厳正を更に徹底する。

また、安全の確保は人材育成であることを踏まえ、引き続き世代交代に備えての個々人の知識、技術、技能の向上及び継承の推進に努める。

今年度は、昨年度実施された「山陰デスティネーションキャンペーン」などでお客様が増加したことに伴い、引き続きお客様にご利用いただけるよう、鳥取県の「全国都市緑化とっとりフェア」、鳥取砂丘の「砂の美術館」や岡山県北東部の「美作国建国1300年」、姫路市のNHK大河ドラマ放映に向けての「ひめじ官兵衛プロジェクト」などの情報発信等を、関係団体と連携しながら積極的に行う。

また、鳥取自動車道全線開通による影響を最小限に食い止めるため、JR等と一体となった旅行商品の開発や情報発信を引続き積極的に行うなど、ひとりでも多くの観光客を誘致する取り組みを行うほか、沿線自治体と連携した普通列車の利用促進のための取り組みを、より一層進めていく。

その他、経年に伴う土木構造物の修繕などを適切に対処するとともに、原油価格等の上昇などの費用増加等に対応するため、引き続き事業の効率化や経費節減等に努める。

そして、JRや関係行政機関と十分な連携を図りながら、第3セクター鉄道会社として「山陰と京阪神・山陽地区を結ぶ地方幹線鉄道」及び「沿線地域の振興に貢献する鉄道」という使命を果たす。

〔重点実施項目〕

- (1) 社員の安全最優先の意識と法令遵守の徹底及び技術レベルの向上による事故等の未然防止、ヒヤリハット事象の報告と分析及び対策を図るとともに、今回の保守用車の逸走事象の反省に立ち、更なる基本作業を徹底する再教育の実施
- (2) 災害や事故等の異常事態に迅速、適確に対応できる危機管理体制の強化
- (3) 鉄道輸送を取り巻く厳しい経営環境の変化に対応するため、旅の快適性や速達化の向上などを図るダイヤの整備
- (4) 列車の安全運行確保のための適時、適切な設備投資、更新及び修繕の実施並びに各種工事の効率化の徹底
- (5) 鳥取自動車道全線開通による影響に対し、JR等と共同で企画切符などの商品開発や効果的

な情報の発信

- (6) 普通列車の利用促進や地域活性化に資するため、沿線自治体及び利用促進協議会等とのより密接な連携による取組や、恋山形駅を活用した「恋駅プロジェクト」などの事業の実施
- (7) 新たな観光素材である「美作国建国1300年」、「ひめじ官兵衛プロジェクト」や「全国都市緑化とっとりフェア」、「砂の美術館」などの積極的な情報発信と、既存の「鳥取砂丘」、「山陰海岸ジオパーク」、「倉吉白壁土蔵群」など沿線観光地、更には「グランフロント大阪」などの観光資源の魅力を最大限発揮する取組の強化